



双塔

カトリック新潟教会

2024年7月
No. 433

キリストのからだ

主任司祭 田中 丈夫

福音書には、イエスによって12人の使徒が任命され、派遣されたことが記されています。また福音書からは、使徒たちの性格や、使徒たちが様々な職業についていたことが読み取れます。

ペトロとアンデレ、そしてヤコブと兄弟ヨハネは漁師でした。

「ペトロは、聖書の中では分からずやの、短気な単純な男として登場します。

ゼベダイの子ヤコブとヨハネは「雷の子」というあだ名があり、喧嘩好きな男たちだったことを連想させます。一番弟子にしてくれと頼み込んでこっぴどくイエスから叱られています。

アンデレ、フィリポは計算高い人間として登場します。バルトロマイは、「ナザレから何か良いものがでるものか」とうそぶく乱暴な男を想像させます。

マタイは徴税人です。徴税人は、ユダヤ社会で罪人とみなされていました。憎き支配者ローマに税を取り立てていく人たちであり、許しがたい存在に思えたからでした。

アルファイの子ヤコブやタダイについては分かりません。

「熱心党のシモン」というのは、名前からして原理主義的傾向をもつ愛国主義者ではないかと思われれます。最後は極め付きでイエスを裏切ることになるイスカリオテのユダです。」

〔溝部修司教著『マルコによる福音(1)』〔p10～p11参照〕〕

ローマ政府から税金の取立てを請け負って生計を立てているマタイと、原理主義的傾向をもつ愛国主義者と思われる熱心党のシモンはいつもいがみあっていたのではないかなどと想像します。

これらから推測することは、この使徒の集団はとても個性の強い人の集まりで、イエスも皆をまとめるのにとてもご苦労なさったのではないかということです。

しかしまた、いろんな性格の人が集まることによって、偏りのない、広がりをもった、様々な問題に柔軟に対応のできる集団となったのではないかと考えます。

教祖的で偏狭な考えの人のもとに付和雷同的に集まった人々のグループのようではなかったでしょう。

イエスを囲んで口角沫を飛ばす若者たちの姿を想像します。

イエスによる派遣に当たっては、それぞれが自分で聴いて、自分の目を見て、自分で考えて、聖霊(神)の導きの元、各自の判断に基づいて行動し、戻って来ては体験を報告しあい、イエスを囲んで分かち合う使徒たちの姿を想像します。

パウロはIコリントの信徒の手紙で次のように教えています。

「体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。つまり、一つの霊によって、わたしたちは、ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、奴隷であろうと自由な身分の者であろうと、皆一つの体となるために洗礼を受け、皆一つの霊をのませてもらったのです。体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。・・・あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。」(Iコリ12章12節～31)

イエスによって任命され派遣された使徒たちの働きは、パウロの教える「キリストの体」を現わしているように思います。

このことは洗礼を受けてキリストの弟子となった私たちにも当てはまるように思えます。パウロが教えるように洗礼を受けた者はキリストの体を構成しています。一人ひとりキリストの体の部分として固有の役割を与えられています。

わたしたちは、キリストのからだである教会をこの世に建てるために、呼び集められています。

インフォメーション!

●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

評議会、各部会、各グループからのお知らせの方法は、次の3通りとなりました。

- ①月刊双塔の「インフォメーション」に掲載。（掲載の依頼は、毎月第3日曜日前の金曜日までに広報部へ メールでも可 アドレス：soutou1656@gmail.com）
 - ②9時半主日ミサの「おしらせ」でアナウンス。変更があった場合も、その都度お願いします。
 - ③センター掲示板おしらせに掲載（外壁ガラス掲示板、掲示する時、右側からが開きやすいです）
- ※朝ミサのみなさんは①③にてご確認ください。 ※お知らせがある方は①②③ともお願いします。

●新しい「ミサの式次第」と「ミサの賛歌」の旋律【カトリック中央協議会】（売店）

新しい「ミサの式次第」と「ミサの賛歌」の旋律（330円）を販売しています。現在ミサで歌われている601～619やミサの旋律が載っています。

●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前10時～、午後7時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 田中神父

●信仰養成講座—秘跡について

日時 毎月第2土曜日 午前11時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 田中神父

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会；野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 7月8日(月) 時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

●「異人池茶の間」～語らいの場～ センター1階の研究室にて。インスタントコーヒー、紅茶、日本茶をセルフサービスでのご提供、無料で楽しめます。ぜひお立ち寄り下さい。皆様ご協力の上、楽しいひとときを分かち合いましょう。

●双塔「王であるキリスト号」への原稿を募集します（広報部）

11月24日に発行する双塔への原稿をお寄せください。特集は「洗礼」。あなたが洗礼を受けた日の思い出や用地洗礼の方は後で聞いた話など、洗礼にまつわるエピソードをお寄せください。特集以外にも日頃感じていることを“思いのままに”お寄せください。聖堂後方の募集箱またはメールでも受け付け中。400字×5枚以内（約2000字以内）でお願いします。短くても大丈夫です。

◆メールアドレス：soutou1656@gmail.com ◆締切10月13日(日)

●平和旬間講演会（カトリック新潟教区、正義と平和委員会主催）

日時 7月28日(日) 時間 13:30～ 会場 カトリックセンター1階 講師 成井司教

テーマ：総合的な（インテグラル）エコロジー「見よ、それはきわめて善かった」について

そよかせ便り

●インターナショナルデー 5月19日

聖霊降臨の主日にインターナショナルデー多言語ミサが行われた。聖堂内にはベトナム、台湾、フィリピン、ブラジル、韓国、インドネシア、スリランカ、日本の信徒が一堂に会し説教は日本語、英語、ベトナム語で話された。ミサ後には、日本、ベトナム、台湾、フィリピンなどのお料理が振る舞われ、歌やダンスも繰り広げられる賑やかな交流の場が持たれた。



2024年7月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
1日(月)	・高藪神父様 叙階60周年記念ミサ 会場:新潟教会聖堂 (11:00～、司教様司式、信徒参加の祝賀会はありません)
3日(水)	聖トマ使徒 (祝日)
5日(金)	・ミサ10:00 (初金)
7日(日)	年間第14主日 ・米沢殉教祭 (11:00 北山原殉教地) ・小教区評議会 (9:30ミサ後) ・英語ミサ (12:00) ・清掃日 (センター、外のトイレ; 英語ミサ後) ・地区協 (13:00)
13日(土)	・信仰養成講座—秘跡について (11:00 研究室)
14日(日)	年間第15主日 ・総務部会 (9:30ミサ後 研究室)
21日(日)	年間第16主日 ・清掃日 (聖堂、外のトイレ、センター; 9:30ミサ後) ・広報部会 (9:30ミサ後) ・国際協力部会 (9:30ミサ後 研究室) ・ベトナム語ミサ (12:00)
22日(月)	聖マリア (マグダラ) (祝日)
25日(木)	聖ヤコブ使徒 (祝日)
28日(日)	年間第17主日 ・教会維持費の整理 (9:30ミサ後 事務室) ・(仮称) 100周年実行委員会 (9:30ミサ後) ・平和旬間講演会 (カトリック新潟教区、正義と平和委員会) (講師: 成井司教、13:30、カトリックセンター1階)

※ ミサ時間

日曜日 (7:00、9:30) 英語ミサ (第1日曜12:00) ベトナム語ミサ (第3日曜12:00)
火曜～木曜 (7:00) 金曜 (10:00)

★月曜日朝7時からのミサは、しばらくの間休止します。

